

プログラム

8月8日(月):1日目

12:55～13:00 開会の挨拶

亀谷美恵（東海大学 医学部 分子生命科学）

關敏郎（東海大学 医学部 腎臓内分泌科学）

13:00～14:40 最優秀発表賞候補演題発表

13:00～13:50 第1部

座長:藤原 研（神奈川大学 理学部 生物学科）

1. 「ラット下垂体におけるサイロステムリン α サブユニット(Gpa2)発現細胞の同定」

峯 萌葉（神奈川大学大学院 理学研究科）

2. 「ニホンウナギ視床下部における摂食関連ペプチドニューロンの局在解析」

加納 千秋（東邦大学大学院 理学研究科）

3. 「ウナギの脳に発現するC型ナトリウム利尿ペプチド(CNP)の局在解析とin situ hybridization chain reaction (HCR)法による検証」

齋藤 あみ（東邦大学大学院 理学研究科）

4. 「ストレス条件下におけるGPR68(OGR1)欠損ゼブラフィッシュの遊泳行動解析」

立原 瞭（明治大学大学院 農学研究科 生命科学専攻）

13:50～14:00 休憩

14:00～14:40 第2部（各10分）

座長:原口 省吾（昭和大学 医学部 生化学講座）

5. 「ウナギ血清毒遺伝子の発見と精製法の確立」

遠藤 綾乃（東邦大学大学院 理学研究科）

6. 「オレキシンおよびBMPシグナルが下垂体ゴナドトロピン分泌に与える影響」

副島 佳晃(岡山大学大学院 医師薬学総合研究科 総合内科学)

7. 「ウナギ C 型ナトリウム利尿ペプチド(CNP)の受容体解析と受容体脳内マッピング
による新規機能予測」

和泉 知輝(東邦大学大学院 理学研究科)

14:40～15:00 休憩

15:00～16:50 シンポジウム① 光環境と動物の行動

座長:松田 恒平(富山大学)

15:00～15:50 「魚類の行動に及ぼす光環境の影響」

高橋 明義(北里大学)

「月周同調産卵魚クサフグにおける生殖神経内分泌系の周期的調節」

安東 宏徳(新潟大学)

15:50～16:00 休憩

16:00～16:50

「 α -MSH による体色調節と行動制御の統合生理学」

渡辺 桂祐・今野 紀文・中町 知哉・松田 恒平 (富山大学)

「昼行性げっ歯類ナイルグラスラットの視床下部神経回路と睡眠覚醒行動の制御」

望月 貴年(富山大学)

16:50～17:00 休憩

17:00～18:00 教育講演

座長:柏木 寛史

「免疫不全マウスの開発とヒト化マウスへの応用」

伊藤 亮治(実験動物中央研究所)

18:00～19:00 夕食

19:00～21:00 フリートーク

座長:未定

8月9日(火):2日目

9:00～9:30 一般演題1 下垂体細胞と発現分子の性状分析

座長:塚田 岳大(東邦大学)

1. 「ラット下垂体中葉側の CD9 陽性細胞は前葉へ移動する」

堀口 幸太郎¹、藤原 研²、塚田 岳大³、中倉 敬⁴、吉田 彩舟⁵、長谷川 瑠美¹、瀧上 周¹ (ON LINE)

- 1) 杏林大学 保健学部 解剖学・細胞生物学領域
- 2) 神奈川大学 理学部 生物科学科
- 3) 東邦大学 理学部 生物分子科学科
- 4) 帝京大学 医学部 解剖学講座
- 5) 東京慈恵医科大学 生化学講座

2. 「ラット新生仔下垂体における新規濾胞星状細胞マーカー分子 Aldolase C の発現様式」

伊澤 和人¹、許 瑾¹、石田 睦²、藤原 葉子^{1,3}、矢田部 恵⁴、大野 伸彦⁴、藤原 研^{1,2}

- 1) 神奈川大学 理学部 生物科学科
- 2) 神奈川大学 大学院 理学研究科
- 3) 神奈川大学 総合理学研究所
- 4) 自治医科大学 医学部 解剖学講座 組織学部門

3. 「ソマトラクチン- α (SL- α)およびソマトラクチン- β (SL- β)遺伝子の二重欠損ゼブラフィッシュの作出とその表現型(外部形態)の観察」

大原 倫仁¹、南 和希¹、今野 紀文²、中町 智哉²、松田 恒平²

- 1) 富山大学 大学院 理工学研究科 生体制御
- 2) 富山大学 学術研究部 理学系

9:30～10:00 一般演題2 下垂体ホルモンと環境

座長:菊地 元史(自治医科大学)

4. 「マゴイとニシキゴイにおける液性体色調節因子の作用の比較」

水澤 寛太¹、六鹿 比斗志¹、山川 将輝¹、大野 佑紀²、佐藤 将²、高橋 明義¹

- 1) 北里大学 海洋生命科学部 魚類分子内分泌学教室
- 2) 新潟県内水面水産試験場

5. 「SABER-FISH 法を用いたメダカ下垂体における遺伝子発現の解析」

佐藤 恵太、大内 淑代

岡山大学 学術研究院 医師薬学域 細胞組織学

6. 「加齢に伴う皮膚ステロイド合成系の変容は毛包幹細胞において小胞体ストレスを引き起こす」

原口 省吾¹、大滝 博和²、石川 紘司³、杉浦 悠毅⁴、嶋 雄一⁵、土居 雅夫⁶、
生水 真紀夫⁷、笹野 公伸⁸、末松 誠⁹、宮崎 章¹

- 1) 昭和大学 医学部 生化学講座
- 2) 東京薬科大学 薬学部 機能形態学
- 3) 昭和大学 医学部 整形外科学講座
- 4) 京都大学 医学部附属 癌免疫総合研究センター
- 5) 久留米大学 医学部 解剖学講座
- 6) 京都大学 大学院 薬学研究科 システムバイオロジー分野
- 7) 千葉大学 大学院 医学研究科 生殖医学講座
- 8) 東北大学 大学院 医学系研究科 病理診断学分野
- 9) 慶應義塾大学 医学部 医化学教室

10:00～10:10 休憩

10:10～10:40 一般演題 3 下垂体ホルモンと生殖・繁殖

座長: 安倍 由美子(医療福祉大学)

7. 「ゴナドトロピン放出ホルモン(GnRH)はゴナドトロフからのアネキシン A5 含有マイクロベジクルの放出を促進する」

汾陽 光盛、千葉 秀一、村田 拓也

岡山理科大学 獣医学部 獣医生理学講座

8. 「卵巣摘出によるラット下垂体前葉内の変化について」

タクマ サイジョウ、金崎 春彦、岡田 裕枝、折出亜希、京 哲

島根大学 医学部 産科婦人科

9. 「妊娠初期ラットにおける夜間特異的下垂体 NR4A3 発現の増加」

寺島 涼太¹、藤本 和香菜¹、谷 知隆¹、久留主 志朗¹、汾陽 光盛²

- 1) 北里大学 獣医学部 獣医生理学研究室
- 2) 岡山理科大学 獣医学部 獣医生理学講座

10:40～10:50 休憩

10:50～11:30 一般演題 4 下垂体と臨床

座長: 和泉 俊一郎(東海大学)

10. 「成長線で気づく下垂体疾患 2 症例の反省」

近藤 朱音^{1,2}、林 亜紀¹、立花 綾香¹、森根 幹生¹、檜尾 健二¹、岩井 艶子²、前田 和寿^{1,2}

- 1) 四国こどもとおとなの医療センター 産婦人科
- 2) 四国こどもとおとなの医療センター 遺伝医療センター

11. 「捺印細胞診は下垂体手術における術中病理診断に有用か。」

田邊 宣昭^{1,2,3}、井下 尚子¹、山田 正三²

- 1) 森山記念病院 病理診断科
- 2) 森山記念病院 脳神経外科
- 3) 東京医科歯科大学 人体病理学講座

12. 「リポソーム封入プロゲステロンによる腫瘍細胞株増殖抑制効果の解析」

桐ヶ谷 大輔¹、大島 志乃¹、眞鍋 良幸²、安田 敦³、関 敏郎³、亀谷 美恵¹

- 1) 東海大学 医学部 基礎医学系 分子生命科学領域
- 2) 大阪大学 大学院 理学研究科
- 3) 東海大学医学部内科学系腎臓内分泌科学

13. 「妊娠免疫システムを用いたヒト化マウス体液性免疫評価システムの確立」

安田 敦¹、関 敏郎¹、北島 夏見¹、関 雅美²、亀谷 美恵³

- 1) 東海大学 医学部 内科学系腎臓内分泌科学
- 2) 聖隷沼津病院 内科
- 3) 東海大学 医学部 基礎医学系 分子生命科学領域

11:30～12:00 休憩・写真撮影

12:00～13:00 スペシャルトーク

座長:水澤 寛太(北里大学)

「富士五湖の魚類」

青柳 敏裕 (山梨県水産技術センター忍野支所)

13:10～13:40 評議委員会・総会

13:40～14:20 吉村賞受賞講演

座長:汾陽 光盛(岡山理科大学)

「哺乳類におけるインヒビンによる卵胞刺激ホルモン分泌調節の解析とその応用」

渡辺 元 (東京農工大学)

14:20～14:40 休憩

14:40～15:30 一般演題 5 下垂体およびその機能研究に有用な研究手法

座長:亀谷 美恵・東 森生

14. 「妊娠ホルモンによるヒト化マウス免疫系の調節機能解析」

山田 壮我¹、清水 智香¹、大島 志乃¹、大野 裕介^{1,2}、柏木 寛史³、安田 敦⁴、關 敏郎⁴、和泉 俊一郎³、伊藤 亮治²、亀谷 美恵¹

1) 東海大学 医学部 基礎医学系 分子生命科学領域

2) 公益財団法人 実験動物中央研究所

3) 東海大学 医学部 専門診療学系 産婦人科学

4) 東海大学 医学部 内科学系 腎臓内分泌科学

15. 「プロゲステロンとコルチゾルがヒト化マウス抗体産生機能に与える効果の解析」

大島 志乃¹、山田 壮我¹、清水 智香¹、大野 裕介^{1,2}、柏木 寛史³、後藤 優美子⁴、關 敏郎⁴、亀谷 美恵¹

1) 東海大学 医学部 基礎医学系 分子生命科学領域

2) 公益財団法人 実験動物中央研究所

3) 東海大学 医学部 専門診療学系 産婦人科学

4) 東海大学 医学部 内科学系 腎臓内分泌科学

16. 「ヒト多能性幹細胞からの下垂体幹/前駆細胞培養系の樹立について」

野々山 葵^{1,2}、河田 美穂²、小谷 侑²、亀山 俊樹²、齋藤 加奈子²、須賀英隆³、長崎 弘²(ON LINE)

- 1) 藤田医科大学 大学院 医学研究科
- 2) 藤田医科大学 医学部 生理学I講座
- 3) 名古屋大学大学院 医学研究科 糖尿病・内分泌内科学

17. 「深層学習による物体検出の受容体薬理学への応用」

Taka-aki Koshimizu, Sajjaviriya Chortip, Morio Azuma

Division of Molecular Pharmacology, Department of Pharmacology, Jichi Medical University

18. “Evaluation of maternal response to pups by computer vision and machine learning in V1b knockout mouse”

Chortip Sajjaviriya, Morio Azuma, Hiroyoshi Tsuchiya, Taka-aki Koshimizu

Division of Molecular Pharmacology, Department of Pharmacology, Jichi Medical University

15:30～18:00 自由時間

18:00～19:00 夕食

19:00～21:00 フリートーク

座長:未定

8月10日(水):3日目

8:30～10:20 シンポジウム② HPA 軸とホメオスタシス、その攪乱

座長: 亀谷 美恵

「発生中の生殖器官に対する性ホルモンの不可逆的影響」

井口 泰泉(横浜市立大学)

「エストロゲン・プロラクチンと生物進化」

生水 真紀夫(千葉大学)

「胎生期低栄養により誘発する下垂体グルコルチコイドフィードバックの異常と疾患発症リスクの形成」

根本 崇宏(日本医科大学)

「アンドロゲン曝露によるキスペプチン・ゴナドトロピン分泌異常と不妊症(多嚢胞性卵巣症候群)」

大須賀 智子(名古屋大学大学院)

10:20～10:30 休憩

10:30～11:20 特別講演

座長: 関 敏郎(東海大学)

「WHO 5th 2022 における下垂体腫瘍 Update: Pituitary Neuroendocrine Tumor (PitNET)」

長村 義之(東海大学名誉教授・本会名誉会員)

11:20～11:30 休憩

11:30～11:40 最優秀発表賞授賞式

司会者: 亀谷 美恵

11:40～11:50 次回会長のご挨拶

司会者:

内田 勝久(宮崎大学)

宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター・教授

11:50～12:00 閉会の挨拶

亀谷 美恵(東海大学)